

科目名 Course Name	ゼミナール I (公務員) Seminar I				ナンバリング No.	A1-017	
年次	1 年	期別	前期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	上岡 敦						
連絡方法	C-Learning で対応、教室、非常勤講師室						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP1、DP3、DP5						
授業の概要と 到達目標	<p>本科目は、社会に出て直面する行政の実態に関する知識や、公務員を志望する学生が理解しておくべき行政の視点、考え方について学ぶとともに、現代行政が抱える課題の把握や分析を行うことで、実際の職務に活かせる力を養成する。</p> <p>①公務員として必要な知識を習得する。 ②論理的に思考することができるようになる。 ③現代社会が抱える諸問題を的確に把握し、多角的な視点から論じることができるようになる。</p>						
授業の方法	ディベート、グループワークなどを含む演習形式で行う予定であるが、履修者数によっては講義形式とする。						
学習成果	L01	テーマについての報告・議論を通して、主体的に問題発見と対応策の提示ができる。					
	L02						
	L03	学んだ知識をもとに、複雑な社会的事象を論理的に読み解くことができる。					
	L04						
課題に対する フィードバック	授業のなかで対応する。						
教科書/ 参考図書	<p>【教科書】初回授業時に指示する。</p> <p>【参考図書】必要に応じて講義中に提示する。</p>						
履修上の留意点 やルール等	<p>ゼミナール形式を取るため、受講者には一定の頻度で報告をしてもらったり、発言を求めることになる。したがって毎回の講義に際しては、十分な自己学習の上で真剣に取り組む姿勢が強く求められる。シラバスは講義とグループワークの併用例を記載しているが、履修者数や受講者の希望によって授業方針等を決めるため、授業計画は変更となる場合がある。授業方針等の決定のため、履修予定者は初回授業に必ず出席をすること。やむを得ず初回授業を欠席する場合は必ず事前に連絡をすること。なお、成績評価の対象となるためには 3 分の 2 以上の出席を必要とする。各回の事前・事後学習の目安: 各 30 分</p>						
担当教員の実務 経歴							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	グループワークなどへの積極的な発言などから判断する。	10		10	
レポート/作品	提出されたレポートが、書式等の要件を満たし、課題に適切に答える内容になっているか、到達目標②③にかかわる視点が身についているかを評価する。	25		25	
発表	主に到達目標②③にかかわる政策分析上の視点が身についているかを評価する。	15		15	
小テスト					
試験					
その他					
合 計		50		50	

回数		授業計画
1	授業内容	オリエンテーション、今後の授業予定の決定、受講者の確定、グループ分けなど
	事前・事後学習	希望する公務員の職種や試験科目などを確認しておくこと。
2	授業内容	行政とは何か
	事前・事後学習	大学にはどの程度公的な補助が行われているのか調べる。
3	授業内容	政府とはなにか
	事前・事後学習	学生生活における集合行為問題の例を考える。
4	授業内容	国と自治体の仕組み
	事前・事後学習	議院内閣制と大統領制の特徴を整理する。
5	授業内容	中央省庁と自治体の組織
	事前・事後学習	中央省庁や各自治体の組織構造について整理、確認する。
6	授業内容	公務員とは何か
	事前・事後学習	公務員という仕事のやりがいについて考える。
7	授業内容	行政改革
	事前・事後学習	行政組織改革の手法について、具体例を用いて説明できるようにする。
8	授業内容	公共政策と行政
	事前・事後学習	自身の関心のある公共政策について、どのような問題への対応であったのか調べる。
9	授業内容	立法過程と条例制定過程
	事前・事後学習	自身の居住している自治体で作成された自主条例について調べる。
10	授業内容	予算と行政
	事前・事後学習	地方交付税制度の意義、役割について調べる。
11	授業内容	政策研究と政策分析
	事前・事後学習	自分の調査する公共的問題について、調査・報告の準備を進める。
12	授業内容	公共政策の現状と課題に関するグループディスカッション
	事前・事後学習	政策課題について資料を収集する。
13	授業内容	公共政策の現状と課題に関するプレゼンテーション
	事前・事後学習	プレゼンテーションに向けて、資料の整理、作成、発表練習をする。
14	授業内容	公共政策の現状と課題に関するグループディスカッション
	事前・事後学習	政策課題について資料を収集する。
15	授業内容	公共政策の現状と課題に関するプレゼンテーション
	事前・事後学習	プレゼンテーションに向けて、資料の整理、作成、発表練習をする。

科目名 Course Name	ゼミナール I (編入) Seminar I				ナンバリング No.	A1-021	
年次	1 年	期別	前期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	松崎 勇人						
連絡方法	C-Learning で対応。または、本館 2 階研究室、火曜を除く昼休みや空き時間						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP2、DP3						
授業の概要と 到達目標	<p>日本大学や他の大学に編入するために必要となる知識・技能・思考力を高めるために、どのような学習スキルが必要かを考え、学習スキルを身に付ける。</p> <p>①能動的学習(自己調整学習)のために必要な PDCA 過程を実施できるようにする。</p> <p>②自己の学習に関する強さと弱さを評価して、学習スキル(学習方法)を高めることができるようにする。</p>						
授業の方法	個人で学習計画を立てて実行し反省するという過程と、それについて小グループで話し合いを持ち、助言し合うという演習形式で行う。その中で具体的学習スキルを伝授していく。						
学習成果	L01	学習計画を立て、実行し、反省し、修正して、専門と教養科目の成績を上げることができる。					
	L02	自己の得意な学習スキルを教え、自己の弱い学習スキルを身に付けられる。					
	L03						
	L04						
課題に対する フィードバック	課題は講義中に返却し、コメントを加える。						
教科書/ 参考図書	特になし。必要に応じて自作プリントを配布する。						
履修上の留意点 やルール等	極力休まないこと。学習計画を立て実行し、進んでモニタリングすること。積極的に話し合いに参加し教えあうこと。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。						
担当教員の実務 経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	最高水準としては、課題を行った上で与えられたテーマについて、仲間の意見を聞いて取り入れ、自分の意見を述べ相手に教えることができる。		40		
レポート/作品	20 点満点の課題を三つ行うこと。学習計画を立て、実施の記録を取り、反省して変えていくことが出来ているかを評価する。	60			
発表					
小テスト					
試験					
その他					
合 計		60	40		

回数		授業計画
1	授業内容	オリエンテーション、編入希望調査、試験科目を調べる。
	事前・事後学習	編入希望大学の学部・学科と試験科目を理解し、短大生活の計画を立てる。
2	授業内容	能動的学習に必要なこと(学習前、学習中、学習後)
	事前・事後学習	どのように学習に取り組めば、最も効果が上がるかを理解する。
3	授業内容	学習前にすべきこと(計画においてチェックすべきこと)。課題 1(編入試験科目の学習計画を作る)
	事前・事後学習	課題 1 を行う。
4	授業内容	学習中にすべきこと(モニタリングにおいてチェックすべきこと)。モニタリングシートの使い方。課題 1 の途中報告と話し合い。課題 2(学習モニタリングシートを付ける)
	事前・事後学習	課題 1 をより良いものに変える。モニタリングシートに、学習の記録を付ける。
5	授業内容	学習後にすべきこと(自己評価においてチェックすべきこと)。自己評価シートの使い方。課題 1 の提出締切。モニタリングの仕方についての話し合い。課題 3(編入試験科目得点の自己評価シートを付ける)
	事前・事後学習	モニタリングシートに、学習の記録を付ける。モニタリング活動を改善する。
6	授業内容	時間を管理するスキル。話し合い。
	事前・事後学習	上記のスキルがどの程度あるか自己評価し、それを改善するにはどうすべきか考える。
7	授業内容	文章理解と文章要約のスキル。演習問題を解く。
	事前・事後学習	上記のスキルがどの程度あるか自己評価し、それを改善するにはどうすべきか考える。
8	授業内容	ノートを取るスキル。演習問題を解く。
	事前・事後学習	上記のスキルがどの程度あるか自己評価し、それを改善するにはどうすべきか考える。
9	授業内容	テストの予想と準備スキル。演習問題を解く。モニタリング活動の途中経過発表。
	事前・事後学習	上記のスキルがどの程度あるか自己評価し、それを改善するにはどうすべきか考える。
10	授業内容	作文とレポートを書くスキル。演習問題を解く。
	事前・事後学習	上記のスキルがどの程度あるか自己評価し、それを改善するにはどうすべきか考える。
11	授業内容	能動的学習スキルについての話し合い。個別支援。
	事前・事後学習	話し合いから取り入れられることを課題 2 に反映させる。
12	授業内容	文書理解等のスキルについての話し合い。個別支援。
	事前・事後学習	話し合いから取り入れられることを課題 2 に反映させる。
13	授業内容	レポートを書くスキルについての話し合い。個別支援。
	事前・事後学習	話し合いから取り入れられることを課題 2 に反映させる。
14	授業内容	スキルの応用の成果発表。課題 2 の提出締切。
	事前・事後学習	話し合いから取り入れられることを課題 2 に反映させる。
15	授業内容	夏休みの学習計画を立てる。課題 3 の提出締切。
	事前・事後学習	夏休みの学習計画を御立てて実行しモニタリングし、ゼミナールⅡの課題 1 として提出する。